

スカウト兵庫

2017
No.2
1

特集

兵庫連盟第23回カブラリー

“ジャンブル・ブック～ウルフ・カブのチャレンジ～”



ビーバーまつり特集

“阪神北、はりま、但馬、西播 地区”

地区紹介

“但馬、姫路、神戸垂水、阪神さくら 地区”



兵庫連盟第23回カブラリー

11月6日(日) 須磨海浜公園周辺と、須磨浦公園周辺に、カブスカウト約1,200名、指導者約500名が集いました。



ジャングルブック ～ウルフ・カブのチャレンジ～

今年はカブスカウトが誕生して100周年記念の年です。2号線沿いの須磨浦公園に日本で最初にカブ活動が誕生した記念の「ウルフ・カブ発祥の地記念碑」が、昭和55年7月20日に兵庫連盟30周年記念として建立されました。今回は須磨浦公園、須磨海浜公園、須磨浦海岸、須磨地域を中心に「兵庫連盟第23回カブラリー記念植樹」「須磨ポイントラリー」「須磨浦海岸での大集会」を実施しました。特に今回の特徴は、ユースや若い指導者が中心に企画・計画・実施を展開し、特別委員会や各地区のサポート奉仕者が協力、コラボしました。世代の交代を急ぐばかりでなく確実に一つひとつ前に進めることができました。いろいろな意味で、寒かったけど心の中はホットな一日でした。

ただ2～3ポイント会場で地域からカブスカウトの行儀の悪さを指摘されました。

私たちの活動は地域とともに認知されなければなりません。お面をつけて、扮装してめっちゃ楽しかったけど、いつでもどこでも「やくそく・さだめ」ができなければなりません。

皆さまのご協力ありがとうございました。

カブラリー大会委員長
兵庫連盟副理事長 中島 佳一

大会期間 平成28年11月6日
会場 須磨海浜公園周辺と、須磨浦公園周辺
趣旨 「ジャングルブック」～ウルフ・カブのチャレンジ～
今年は、カブスカウトが誕生して100周年記念の年です。2号線沿いの須磨浦公園には、日本で最初にカブ活動が誕生した記念の「ウルフカブの像」があります。この須磨浦公園、須磨海浜公園を中心に、兵庫のカブスカウトが「ジャングルブック」をテーマに、活動を展開します。組集会で、準備や作戦を立て、楽しいポイントラリーにチャレンジします。
ウォーウォーウォー。
主催 日本ボーイスカウト兵庫連盟
後援 兵庫県、兵庫県教育委員会、公益財団法人兵庫県青少年本部、神戸市、神戸市教育委員会、一般財団法人兵庫県ボーイスカウト振興会



カブラリーを迎えて

11月6日、第23回カブラリーが実施されました。今回のカブラリーでは、若手指導者が主体となり、各プログラムの企画・計画に積極的に関わり、私はプログラム部門のリーダーを担当しました。

大きな大会で企画をすることは不安でしたが、スカウト達が楽しんで各ポイントを回っているのを見て、達成感と喜びを感じました。反省すべき点は多々ありますが、この経験を糧に今後もスカウト活動などに役立てていきたいと思っています。携わった皆様、本当にお疲れ様でした。

ユース委員会 神戸第60団 桑 和資

植樹祭スカウト代表の言葉

おはようございます。
今日の植樹祭に参加でき、とてもうれしいです。

来年の春に、桜が咲くのが楽しみです。

これからも、がんばって、スカウト活動にはげみます。

神戸第37団 吉井 夕賀 (よしい ゆうか)





カブラリーに参加して

カブラリーの案内を頂いてから、参加準備に動物の面づくり、ポイントラリーの事前訓練が必要とあって、やってみるとこれが楽しい、スカウトもリーダーも楽しい、これを須磨の街中でやればもっと楽しいものになるなってワクワクしながら参加しました。あまりポイントを廻ることができなかったけれど、街中にジャングルブックに出ていた動物があふれ、今まで体験したことのない1,200人で大輪などができ、とてもすばらしいカブラリーでした。

姫路第8団 カブ隊隊長 後藤 美枝子

カブラリーはドラマだ

今回のカブラリーを一言で表すと「温故知新のドラマ」でしょうか。組集会からドラマは始まりました。ジャングルブックやポイントルートの相談、動物のお面作りなどでした。ウルフカブ像を目指して1,200名のカブが集まるのもドラマでした。ポイントでは豚さんもどきのトラのシェラカーン、インドカレーを手に持つインド人など楽しい仕立てもありました。サークルの大咆哮などBPのジャングルブックごっこを満喫しました。「〇〇ごっこ」はカブ活動の普遍であり、SNSによるリーダー連携は進化でしょう。これからも「ごっこ」を進化したプログラムに取り入れていこうと思いました。準備・運営に携われたすべてのリーダーに深く感謝します。

西宮第22団 カブ隊隊長 宮里 健



色濃く記憶に残るものを

今回のカブラリーはスカウト達の印象に残り、且つ100周年にふさわしい大きなことをセシモニーに入れよう！という実行委員会メンバーの総意により、全員でのカブコールが提案されました。兵庫県下から集まるスカウトの数は多く、ロックサークルを作ることも難しいと予想されました。しかし、実行委員会だけでなく、コミッショナー、各隊リーダー方の協力的な姿勢に助けられ、理想を現実にすることができました。今でも鮮明に思い出せるあの風景がスカウトの記憶にずっと残るように願っています。最後になりましたが、奉仕で関わってくれた方々、また楽しんで参加してくれたスカウト、リーダー、本当にありがとうございました。

ユース委員会
神戸第31団 猪瀬 智

県カブラリー

神戸垂水地区のカブスカウトは、須磨浦公園内ウルフカブ像傍らへの記念植樹式典に参加しました。予想外の寒さの中、参加1,200名のスカウト代表としての責務をしっかりと果たしてくれました。式典のためラリーには出遅れたにもかかわらず、スカウトたちは、高得点獲得を目指して、それぞれいろいろなポイントに挑戦しました。スカウトたちが頑張っている姿をみて、植樹した桜が大きくなり美しい花をたくさん咲かせる頃、指導者となった彼らがスカウトを引率する姿を思い浮かべ笑顔一杯の一日になりました。

神戸第37団
カブ隊隊長 山谷 裕美





ビーバーまつり特集



阪神北地区

ビバリンピック 2016

9月22日(木・祝) 猪名川町総合公園(ふれあい公園)



9月22日に阪神北地区の振興大会を猪名川町総合公園(ふれあい公園)で開催しました。その大会後に、ビーバーまつりを行いました。

当日は雨が降りそうで降らない?(少しだけ降った)微妙な状況の中、気象レーダーを頼りに出来ると判断。小雨でもできるゲームに絞って実施しました。スカウト達には楽しんでもらえたようです。



はりま地区

ビバリンピック2016 - 広げようビーバーの輪!

10月23日(日) 加古川市日岡山公園「いこいの広場」

10月23日、加古川市の日岡山公園「いこいの広場」で、はりま地区ビーバーまつりが開催されました。

ビーバースカウト48名、指導者等32名、保護者兄弟等41名、一般参加者8名の約130名が参加しました。

ビーバー5チームとちびっ子チーム1チームの6チームに分かれ、10種目を楽しみました。ポイントになるのは、そのうち9種目です。

参加したお友だちは、何が一番楽しかったかな?

表彰式では、メダルの授与が行われました。

ちびっ子チームもメダルを戴きました。みんな一生懸命がんばりましたよ。

(はりま地区ホームページもご覧ください。 <http://www.bs-harima.jp/>)

- プログラム**
- ・ビバビバっほ (じっせり)
 - ・つんとつんとあかたづけ (ダンボール積み上げ競争)
 - ・たすねごさかじり (指折り競争)
 - ・ねらっごシュー (的ぼくりの玉入れ)
 - ・ねらっごシュー (動物になりにまっく競争)
 - ・フライングシューズ (飛翔ほし)
 - ・キャタビラ (タンボールのキ・タビラ競争)
 - ・ルンルンごっこ (赤くおれ)
 - ・なまのむっこ (ドジョウ運び競争)
- ・パン食い競争 ※ポイントとは関係ありません。



但馬地区

但馬の生んだ偉大な冒険家

11月20日(日) 豊岡市立植村直己冒険館



11月20日にビーバーまつりを豊岡市立植村直己冒険館で開催しました。

但馬の生んだ冒険家植村直己にちなんだゲーム(犬ぞり引き、氷上歩行、クレパス越え等)に、ビーバースカウトたちは、元気いっぱいチャレンジしました。



西播地区

地区ビーバーまつり

11月27日(日) 七つの市立小宅小学校 体育館



朝からの雨の為、たつの市内のラリーをする予定を、小宅小学校の体育館に変更してゲーム中心のビーバーまつりを開催しました。

スカウト20名、指導者17名の総勢37名が、セレモニーから始まり、視覚ゲームや新聞パズル、ロープ結びやくるみの缶バッチ作りなどゲームで楽しんだ後、最後は「なべなべ底抜け」、みんなで大きな輪を作りました。

みんなでつないだ手の温もりからスカウト達も繋がりを感じられたことと思います。



神戸垂水地区たより

神戸垂水地区は、垂水区内に7個団、西区内に3個団の10個団あります。神戸垂水地区の近郊には、地区ラリーを開催する西神中央公園や舞子公園、いぶきの森公園、奥須磨公園、こういった自然に囲まれた公園や、アジュール舞子、マリニピア神戸と言った明石海峡大橋を一望できる海辺の広場や充実した施設もたくさんあります。垂水区、西区内の活動エリアは、スカウト活動に於いて、自然に親しみ、楽しみや喜びを分かち合い、たくさんの仲間とふれあい活動できる魅力がいっぱいです!!



「16NJ 垂水地区派遣」



「23WSJ 神戸垂水地区派遣」隊



「垂水地区ラリー」



但馬地区たより

但馬地区は、氷ノ山、扇ノ山、鉢伏山など兵庫の屋根を成す1000 ㍍級の山々が連なり、それを源とする円山川はじめ、多くの清流が日本海へ注いでいます。四季の変化に富んだ素晴らしい大自然の中で楽しくスカウト活動をしています。但馬のスカウトは、豊岡市(豊岡第2団、日高第1団)・養父市(養父第1団、八鹿第1団)・香美町(村岡第1団)の2市1町にある五つのボーイスカウト団で構成されています。



「但馬の森の自然」



「兎和野の森ハイキング」

6月25日にスカウトフェスタ2016(地区振興大会)を県立兎和野高原野外教育センターで開催し、深い緑の中、地区、団の指導者・スカウト・保護者のみんなが、思いを一つに明日への発展をちかいました。午後からは、兎和野の森を冒険するハイキングをおこないました。

阪神さくら地区



シンボルマークは最も身近な活動フィールドである甲山と、芦屋市・西宮市を流れる芦屋川・夙川・武庫川をバックに桜の花がデザインされています。

阪神さくら地区は平成 22 年に旧芦屋地区と旧西宮地区が統合し 17 団体 1307 名でスタートしました。毎年各部門の地区行事が行われ、普段の訓練の成果を披露すると共に友情を深めています。9 月 19 日にはすべての団が“スカウトの日”に参加し、地元地域社会への奉仕活動を展開しました。午後からは一堂に会した活動振興大会で今年度の目標「すべての団がスカウトを増やそう」を皆で確認した後 1277 人の集合写真を写しました。



「ビーバー祭り」



「カップ集会」



「地区キャンポリー」



「京都トレイル」

姫路地区たより



「地区発足 30 周年記念活動振興大会」

姫路地区は 1986 年 4 月に西播地区から分封して、11 個団 1150 名で発足し、姫路シロトピア公園で結成式を盛大に挙行了しました。結成当時から比較的まとまった地域性から各加盟団とのコミュニケーション充実を生かし、行政との連携をして活発に活動しています。2016 年 10 月には発足 30 周年記念行事として、結成式を行った同じ姫路シロトピア公園で「地区発足 30 周年記念活動振興大会」と「スカウトの屋台村」を開催しました。地区あげて姫路 FM 局「FM げんき・飛び出せ！町の元気人」にも出演しボーイスカウト活動を発信しています。



「スカウトの屋台村」



「FM げんき・
飛び出せ！町の元気人」

平成28年度 富士・隼・菊章
取得者を紹介します



富士章

前号～現在

神戸第43団 小林 千乃



隼章

前号～現在

西宮第3団 坂井 駿汰
西宮第3団 木下 慧



菊章

前号～現在

三田第1団 加藤 寛之
姫路第20団 宮元 瑚子
神戸第40団 芝 昌隆
神戸第60団 大石 響海
神戸第60団 柏野 雄介
三田第1団 光山 琢海
尼崎第7団 平塚 麻季

「丹波ふれあいフェスティバル」奉仕



10月29日・30日県立丹波の森公苑にて開催。4万人を超える来場者を迎え、はりま地区と阪神北地区のスカウト・指導者126名が大会宣言・旗手・来場者案内・募金活動・会場美化・プログラム配布・体験展示コーナーに奉仕しました。体験展示コーナーでは、ボーイスカウトの紹介パネル展示とロープ結びのとんぼづくり、缶バッジを提供407名が参加。多数の市民にボーイスカウトを知ってもらう事ができました。

同時に「ひょうご青少年活動フェスティバル」開催

(公財)兵庫県青少年本部に所属する、国際交流協会・神戸YMCAとボーイスカウトが共同で、クイズ・木片クラフト、風船アートや紙きり、丸太切り、くぎ打ちなどの体験コーナーを開設。真剣な眼差しで説明を聞きながら一生懸命に挑戦している姿を見ることができました。



【事務局ニュース】

◇日本ジャンボレット高萩2017の開催と参加者募集

平成29年8月4日(金)～9日(水)5泊6日で茨城県高萩市・大和の森「高萩スカウトフィールド」で開催。ビーバーからローバーまでのスカウトが参加できます。募集は近々にご案内の予定。

◇富士特別野営2017の開催

平成29年度も富士特別野営2017を平成29年8月12日(土)～18日(金)で6泊7日の大会を開催します。隼章及び富士章取得者は、積極的に参加に挑戦してください。今年は3名のベンチャーが参加。

◇山中野営場の閉鎖

指導者訓練のメッカである山中野営場が平成29年度で閉鎖。富士特別野営2017を最後に平成29年8月19日～20日、お別れイベントを開催。是非ご参加ください。詳細決定しだいご案内します。

◇第17回日本スカウトジャンボリーの会場下見

第17回日本スカウトジャンボリー(この回からスカウトが付くことになりました)が平成30年8月4日(土)～8月10日(金)の7日間、石川県珠洲市蛸島町「りふれっしゅ村鉢ヶ崎」で開催されます。

下見を平成28年11月19日に実施。第14回日本ジャンボリーが開催された場所です。朝晩は涼しく非常にすばらしい会場です。現在のカブスカウトからも参加できます。原隊での活動の延長線として訓練に励み参加してください。

編集後記

△スカウトたちの楽しい活動をもう一度振り返る事ができ、いい機会をもらえました。

△第二号の編集とあつて構成が出来ているので早く編集ができると思っています。したがなかなか手強い作業でした。第一回を編集された方々のご苦労が良くわかりました。

△地区をアピールする写真がなかなか集まらなくて・・・。他人を頼るのではなく、組長の役割の広報の一環として自分で振り置きしておくべきと反省。

(神戸垂水地区 津崎 仁)

(但馬地区 石田 寛)

～お知らせ～
団紹介記事募集

がんばっている活動の様子をお知らせください。紙面にて、紹介をします。詳しくは、各地区組織拡充委員まで。

セーフ・フロム・ハーム

～思いやりの心を育む教育～

いじめ・身体的虐待・心理的虐待・ネグレクト(無視)・搾取(児童労働、無理に奪い取る、ゆする)などの危害について、その予防と対策法を実践し、また人として、日常的にしてはいけないことを学びます。

平成29年度の登録からは、すべての指導者は「セーフ・フロム・ハーム研修」の履修が必要となります。